

## トップ対談

# 人の心を動かす こだわりのサンドイッチ

# ～ サンドイッチハウス メルヘン ～

お客様に喜びと感動を覚えてもらいたい。素材にこだわったサンドイッチづくりを追求し、首都圏を中心に22店舗をチェーン展開するメルヘン。1982年の創業以来、規模を追い求めずに堅実な経営を続け、11年6月期は過去最高の年商12億円を予想。今年1月には日刊工業新聞社主催の優秀経営者顕彰女性経営者賞を受賞した。消費不況が続く中で事業を成長させていくポイントを、創業者の原田純子社長と井水治博日刊工業新聞社社長が語り合った。

原田社長 個人創業で小同時に始めました。当初から考えず、まず仕入れや販売億円ぐらいの売り上げにしました。いまは22店舗、売り上げは12億円程度にまでなりましたが、目の届く範囲で高品質を追い求められる、という意味で一番仕事がしやすい規模になつていると感じています。この間、約30年、苦労はあつたと思うのですが、余り思い浮かばないのです。経営の課題は当然、たくさんあります。

高品質を追求し  
優秀経営者顕彰受賞

**高品質を追求し  
優秀経営者顕彰受賞**

井水 御社をはじめ産業界全体が復興への協力を申し出ていることを心強く感じます。さて、原田社長が経営されているメルヘンはサンドイッチエーンとお聞きしています。サンドイッチは手軽に食べられる食品として人気があります。そしてそのチエーンの経営にあたっては、規模よりも品質を追い求め、お客様に喜びと感動を感じてもらいたい、とこだわりの商品を提供されていらっしゃいます。堅実な経営でも知られ女性経営者賞を受賞される栄誉にも浴されました。創業は昭和57年と29年前になりましたが、ここに至るまでには「ご苦労も多かつたかと思います。

井水　お話を伺ふ前に、東日本大震災は東北・北関東などの広い地域に甚大な被害をもたらしました。御社の事業にも影響が出ていたのではないでしょうか。

原田社長　まずは被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。当社においては大震災の直接の影響はありませんでしたが、サンドイッチの具となる野菜や乳製品などの調達に支障がでています。また計画停電によって首都圏のお店の営業ができない、といったことがありその対応に追われています。そして少しでも支援できることがあれば、と売り上げの一部を義援金に充てることに致しました。



日刊工業新聞社社長 井水 治博

原田社長 従業員教育など、まだまだ行き届かないことがたくさんあります。そのようなままで事業の拡大を急げば出店先の百貨店などにも迷惑をかけてしまいます。また常にお客さまの信頼を裏切ることのないよう、よりよい物づくりを大事にしたいのです。

井水 サンドイッチ店は有名百貨店を中心に出店され、おいしいと評判です。私の知る経営者や官僚の中にもファンがいます。

原田社長 本当にうれしく、有り難いと 思います。当社は厳選素材を使い、また工場を持たずにすべて店内の厨房で手作りしています。新鮮なうちに提供できますし、工場から運ぼうと思えば保存料などの添加

井水 事業が軌道に乗れば、次は拡  
線へ、と経営を考えたくなりませんか。

的で、阳転思考の名人なんだと思ひます。  
井水 苦労を苦労とせず、逆にチャンス  
に変えてしまいます。私が昨年11月に  
社長に就任した際、原田社長は経営の要諦  
として『課題は早めに解決し先送りしては  
ならない』と声をかけて下さいました。

原田社長　目の前の課題を一つひとつ解  
決していくことが重要だと考へています。  
すべてうまく解決するのは難しいことです  
が、それをこなすことで一步前に進む。そ  
うすることで足元を固め、少しずつ高い山  
に登ってきたのではないかと思ひます。

A black and white studio portrait of a middle-aged woman with dark, shoulder-length hair. She is smiling warmly at the camera. She is wearing a dark, textured blazer over a light-colored collared shirt. A small, delicate flower-shaped brooch is pinned to her left lapel. A thin chain necklace with a dark, teardrop-shaped pendant hangs around her neck. The background is a uniform, neutral gray.

株式会社メルヘン 原田 純子社長

A black and white photograph of a dessert. It consists of two long, thin, white sponge fingers filled with banana slices and cream. The dessert is served on a decorative plate with a floral pattern. The background is a light-colored surface.

## 背伸びせずに 自然体の経営

井水 いろいろお話をお聞きして、原田  
社長には経営者としての思い切りのよさ  
いうか度胸があると思います。

原田社長 これまで経営してきて、女性  
ということを意識したことはとくにありません。  
せん。ただ主婦としての視点はいい意味で  
役に立ち、それを経営に生かしていること  
が多いと思います。庭で山野草を育てたり  
花を生けたり、料理も日常的にしていくこ  
とがよく普通に生活しています。

井水 きょうは長時間にわたって素晴らしい  
お話を聞きました。ありがとうございました。

株式会社 メルヘン  
<http://www.meruhen.co.jp>

## 「健康」テーマに 新事業を展開

なく、準備したり先手を打つたりする、そうすることで心に余裕が生まれ、のんきな経営ができる。さらに事業に好循環がもたらされるのでしょうか。

原田社長 余裕は遊び心を生み、いろいろなアイデアも浮かびます。何よりも強いために、会社をつくることができたと思います。

井水 のんきな経営にみえて、実はとても緻密に経営されている。自分のペースに巻き込むこともお上手で、経営者として天性の素質のよさを感じます。ところでさきほどから規模は追い求めない、というお話を聞きましたが、中期的な経営のビジョンをどうお持ちなのでしょうか。

井水 のんきな経営とは面白いですね。  
原田社長 会社を経営するのにあたり、のんきにやれたらいいな、当社にかかわるすべての人が楽しく働けたらいいな、という気持ちを大切にしています。

井水 のんきな経営とはどんなものか。  
原田社長 考えるのんきな経営に興味がわきます。

原田社長 のんきにやろうと思えば、あれこれやっておかないとのんきにできない、これやつとかないとのんきになんてられない、現実はそんなに甘くありませんから多くの課題に前もって手を打つていくことになります。それをしておけば、多少ゆとりが生まれるのかな、と思ってます。

井水 経営のモチベーションにされてい

The logo features a black silhouette of a bear sitting and eating a sandwich. The bear is positioned above a dark oval containing the text "サンドイッチハウス" (Sandwich House) and "メロンパン" (Melonpan). The oval is surrounded by various bread rolls and pastries.

株式会社 メルヘン  
<http://www.meruhenk.co.jp>

## 【サンドイッチハウス メルヘン 店舗一覧】